



学校だより（冬休み号）

自ら学び、心豊かでたくましい実践力をもった子どもの育成

太宰府市立水城西小学校 Tel923-2559 文責：教頭 比嘉一人

水城西小学校では、本年度「つながり」を大切にしています。先日実施した「もちつき集会」には、保護者の皆様はもちろん、地域の皆様、中学生、大学生、元保護者など、多くの皆様にご協力いただきました。まさしく、子どもを見守る大人同士のつながりや、子どもと大人のつながりなど、多くのつながりが強まる、素晴らしい機会になりました。そこで、「もちつき集会」のよさを、2つの側面から考えてみます。

子どもを見守る、保護者・地域・教師のつながり

保護者の皆様は、学校から電話の着信があったらドキッとしませんか。教師も、保護者から電話があるとドキッとすることがあります。それは、「何か苦情や指摘があるのではないか」と思うからでしょう。先日、私がある保護者に電話をしたところ、名前を名乗ると「電話があってドキッとしました。教頭先生でよかった。」と言われました。一方、保護者からの訴えについて担任から相談を受けた場合も、「この方であれば大丈夫。協力して対応できる」と感じる保護者がいらっしゃいます。保護者と教師の関係性において、不安や心配ではなく、安心や信頼が勝っているケースだと思えます。ではなぜ、安心や信頼が生まれるのでしょうか。それは、お互いの顔と顔がつながっているからです。

私は、「保護者と教師はチームである」と考えています。子どもたちの健やかな成長という同じ目的をもち、同じ方向を向いて協力できるチームです。「もちつき集会」は、保護者も地域も教師も、子どもたちの笑顔のために、同じ方向を向いて子どもたちに関わります。その関わりの中で、保護者や地域の皆様、教師の顔と顔がつながります。この「つながり」が、家庭や地域、学校の間の安心や信頼を生み出し、子どもたちが安心して成長することの土台になると思えます。



子どもを動かす、子どもと大人のつながり

行動分析学によると、人が行動するには4つの理由・目的があるとされています。その4つとは、①注目獲得（他者から注目を集めたい）、②要求獲得（自分の要求を通したい）、③回避逃避（嫌なことから逃れたい）、④感覚獲得（気持ちのよい刺激を得たい）です。この4つの中で、子どもにとって最も大きな行動の理由は、①注目獲得であると言われています。つまり、他者の注目を得たい、特に身近な人から見てほしいために行動を起こすというものです。例えば、「親から褒められるために努力をすること」や「先生から関わってもらうために大声を出す」などが挙げられます。また、イギリスの精神科医であるボウルヴィの愛着理論によると、子どもは養育者との愛着を築き、安全な居場所を確保できると、周囲の世界を積極的に探索する行動をとるとされています。つまり、子どもが積極的に行動して経験を広げ、健やかに成長するためには、周囲からの温かい眼差しや関わりによる安心・安全が不可欠ということです。

その視点から「もちつき集会」を見直すと、子どもを取り巻く大人が一斉に子どもに関わることの大きな価値が見えてきます。保護者はもちろん、地域の方や中学生、教師などが一斉に子どもに関わることで、子どもたちは知らず知らずのうちに安心・安全な居場所を獲得し、そこを拠点として積極的な行動ができるようになっていくのです。



ここまで読んでいただきありがとうございます。上述した内容に対して、URL や二次元コードからご意見をいただけると嬉しいです。①読んだ感想、②もちつき集会の感想、③家庭・地域・学校の素敵な関わりを感じる事など、是非教えてください。

<回答 URL> <https://forms.office.com/r/FkixppmM2D>



1月の主な行事予定	2月の主な行事予定
8日（木）全校朝会（後期後半開始） ※給食なし 12:00 下校	2日（月）全校朝会
9日（金）登校班班長会 委員会活動	3日（火）登校班班長会
12日（月）成人の日	5日（木）入学説明会
15日（木）議題説明会	6日（金）委員会活動
16日（金）避難訓練	11日（水）建国記念の日
19日（月）読み聞かせ（1, 3, 4年）	13日（金）クラブ活動（最終）
22日（木）参観（人権）懇談	18日（水）学校運営協議会
23日（金）24（にし）の日 中学校入学説明会（6年）	19日（木）支会常会・一斉下校
28日（水）放課後子ども教室	23日（月）天皇誕生日
29日（木）代表委員会 スクールカウンセラー来校	24日（火）24（にし）の日 保幼小連絡会
30日（金）クラブ活動	25日（水）学校保健委員会
	26日（木）参観・懇談（1～5年） 感謝の会（6年）
	27日（金）委員会活動（最終）

学校だより（12月号）に、多くのメッセージをいただきました

先月号からの新しい試みとして、学校だよりをきっかけに保護者や地域の皆様との双方向のやり取りに挑戦しています。大変嬉しいことに、12月号に一言メッセージをくださった方が何人もいらっしゃいました。本当にありがたく感じるとともに、素敵な内容がいくつもあったので、一部紹介させていただきます。

※12月号の閲覧はこちら → <https://www.dazaifu-e.ed.jp/site/mizukinishi/709.html>

- 子供たちへはもちろん、つつい忙しくて言葉が強くなってしまふ親へも、改めてハツとさせられた内容でした。親子ともども気をつけていきたいなと思います。ありがとうございました。
- 我が子が使う言葉を聞いていると、親である自分が普段どんな言葉遣いをしているかを痛感します。我が子の言葉遣いを聞いて、親である自分が言葉遣いを見直すきっかけになるように感じています。
- あいさつも素敵な言葉です！旗当番で立っている時に子供たちが、おはようございます。さようならと大きな声で挨拶してくれます。会ったこともない知らない人なのに、元気な挨拶をすると、お互い笑顔になり心が温まります。
- 学校だよりにて大変興味深い文章をお載せ頂きありがとうございました。子供の言動もですが、自身の普段の言動はどうか？と改めて考えるきっかけとなりました。また、学校の先生方がこのような方針で子供たちに接して頂けるのが本当にありがたく嬉しいです。いつも安心してお預けすることができます。
- こどもの具体的な姿から、教頭先生が感じられたことが分かりやすく平易な言葉で述べられているので、とても読みやすかったです。入学式の時、新入生の保護者として参加しました。上級生があたたかく迎え入れてくれましたが、我々保護者にも「おめでとうございます」と声をかけてくれたのが印象的でした。ホスピタリティに溢れた学校だと感じました。
- お忙しい中、学校便りの作成ありがとうございます。子供達の学校での普段の様子や行事内容がわかるので楽しみに拝見しております。今回は心と言葉についてでしたが、言葉は一度発してしまうと戻せないものなので自分自身も発する前に一旦考えてから発するようにしたいと思いました。傷つけることも心を温めることもできる言葉を大事に使っていききたいものです。

一部しか紹介できないことが心苦しいのですが、いただいたメッセージは全て目を通していただいております。子どもを取り巻く言語環境を改めて考えていらっしゃる方、自分自身の言葉遣いを振り返ってある方、普段の子どもの素敵な姿を見逃さずに教えていただいた方など、皆さんの豊かな感性と心の広さが本当に素敵だと思います。また、学校への感謝の言葉は、私たち教師の大きなエネルギーになります。こんな方々のお子様を預かり、共に成長の喜びを感じられていることを嬉しく思います。今年もあとわずかになりました。本当にありがとうございました。そして、よいお年をお迎えください。